

公開シンポジウム「愛媛から世界へ 農林水産学と社会貢献」

持続可能な社会を構築するためには、今後、世界規模の食料危機、生存圏環境の悪化など多様な問題を解決しなければならない。食料と環境に関する科学と科学技術に対しても、ローカルなレベルからグローバルなレベルまでの様々な局面で大きな貢献が求められている。

本シンポジウムでは、「食料」・「資源」・「環境」・「地域」に関わる緊急課題を総合的、かつ、体系的に研究を行っている愛媛大学農学部最先端的研究課題の中から3つの課題を取り上げて議論し、これからの農林水産学の社会貢献のあり方を検討したい。

1. 主 催：日本学術会議農学委員会・食料科学委員会
愛媛大学、愛媛大学農学部
2. 後 援：愛媛県，松山市，農林水産省愛媛農政事務所，JA愛媛中央会
(予定) 愛媛県森林組合連合会，愛媛県漁業協同組合連合会，
NHK松山放送局，あいテレビ，愛媛朝日放送，テレビ愛媛
南海放送，愛媛新聞社，朝日新聞社，毎日新聞社，読売新聞社
産経新聞社
3. 日 時：平成21年7月18日(土) 13:30～16:30
4. 場 所：愛媛大学城北キャンパス・グリーンホール
(愛媛県松山市文京町3)
5. プログラム：
総合司会：若林 良和(愛媛大学南予水産研究センター副センター長)

13:30～13:45 開会挨拶

柳澤 康信(愛媛大学長)

唐木 英明(日本学術会議副会長、東京大学名誉教授)

13:45～16:20 (講演30分、質疑応答15分)

第1セッション：農学分野

座長：野並 浩(日本学術会議連携会員、愛媛大学農学部教授)

太陽光利用型植物工場の知能化のための **Speaking Plant Approach** 技術

仁科 弘重(愛媛大学農学部教授)

コメンテータ：野口 伸(日本学術会議会員、北海道大学大学院農学研究院教授)

第2セッション：林学分野

座長：橘 燦郎（日本学術会議連携会員、愛媛大学農学部教授）

航空レーザー測距法による大面積森林資源計測

末田 達彦（愛媛大学農学部教授）

コメンテータ：飯塚 堯介（日本学術会議会員、東京家政大学家政学部教授）

休憩（10 分間）

第3セッション：水産学分野

座長：山内 皓平

（日本学術会議会員 食料科学委員会委員長、
愛媛大学南予水産研究センター長）

地方大学発の地域貢献の新しい形：愛媛大学南予水産研究センターの取り組み

三浦 猛（愛媛大学南予水産研究センター教授）

コメンテータ：進士 五十八（日本学術会議会員、東京農業大学地域環境科学部教授）

シンポジウムを振り返って

真木 太一

（日本学術会議会員 農学委員会委員長、
筑波大学北アフリカ研究センター客員教授）

16:20～16:30 閉会挨拶

林 和男（愛媛大学農学部長）

【参加申込方法】

参加申込は不要です。当日会場までお越しください。参加費は無料です。

【問い合わせ先】

「愛媛から世界へ 農林水産学と社会貢献」シンポジウム実行委員会

委員長 山内 皓平（愛媛大学南予水産研究センター長、日本学術会議会員）

連絡先：〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 社会連携推進機構
南予水産研究センター

T E L : 089-927-8827

F A X : 089-927-8820